

— 農の雇用事業による取組事例 —

岩手県北上市 株式会社西部開発農産

- 耕作面積の拡大と多作目化・6次産業化の推進により、積雪の多い地帯における周年雇用を実現。
- 幅広い作目を経験させ、向いている仕事を任せる「適材適所配置」で生産性を向上。

(株)西部開発農産の概要

【設立】昭和61年4月

【代表者】照井 勝也

【売上】50,914万円

【事業内容】農畜産物の生産販売・農産物加工販売・農作業受託

【経営面積】約750ha(水稲、小麦、大豆、そば、アスパラガス、青ネギ、ベビーリーフ)、繁殖牛82頭、肥育牛100頭

【主要取引先】(株)門伝商店、東日本産業(株)、(株)神明、菅原食品、(株)大豆カンパニー

【従業員数】96人

【所在地】岩手県北上市和賀町後藤1-333

【会社の特徴】部門多角化による企業的経営



研修・人材育成の取組内容

【研修概要】

- ・研修1年目は、様々な作目・作業を幅広く経験し農業技術の基礎を身につけるとともに、適性を判断します。
- ・研修2年目は、各作目の栽培技術の向上と併せて得意分野を深く学ぶことにより、専門性を高めます。

【雇用就農者の定着に向けた特徴的な取組】

- ・積雪地帯ですが、冬期間も味噌・こうじづくり、大豆選別～袋詰め(製品化)、アスパラガス促成栽培、除雪請負、機械整備などの幅広い作目・業務に従事し、周年雇用を実現しています。
- ・得意分野を活かし、やりがいを持って働くことができるよう、可能な限り希望する作目を担当させます。自ら計画した上で考えて仕事をするので、やりとげるといふ達成感を得ることができます。
- ・取得したい資格(主に大型特殊免許等)の目標を立てて、計画的な取り組みを推進する「スキルアップ制度」という独自の自己啓発制度を導入。取得した資格は、他の従業員にも分かるように見える化しています。
- ・出勤シフトを適切に組むことで、繁忙期であっても週1日の休日を実現しています。
- ・労働保険・社会保険の完備や年2回の賞与もあり、他業種と同等の給与水準を実現しています。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・今後は直販や6次産業化の推進により、マーケティングや商品企画を行うことが得意な従業員、またお客様と接することが得意な従業員が、より活躍できる環境を整えていきます。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・基礎的な農業技術の習得
- ・必要な免許・資格の取得

各作目主任(4年目～)

- ・担当作目の生産計画の立案・管理
- ・商品の企画・立案

各部門課長(10年目～)

- ・経営計画の策定・執行
- ・人材の確保・育成